

## ②農村計画学会 2017 年度秋期シンポジウム（第 3 報）

大会実行委員会・学術交流委員会

テーマ：これからの地域づくり－「田園回帰」志向を農山村はどう受け止めるのか－

日 時：2017 年 11 月 25 日(土) 13:00～17:30

場 所：和歌山大学 システム工学部 A101 大講義室

趣 旨：

近年では、若者を中心として「田園回帰」と言われる農山村志向がみられ、本年度春期大会においても、その議論がなされたことは記憶に新しい。こうした動きについては、その傾向とともに、仕事探しや住居探しの必要性、行政主導による対応の限界性などの課題について整理もされつつある。一方で、農山村側が「田園回帰」を理解し、受入体制を十分に整備できているのであろうか、つまり、農山村側が「田園回帰」をどのように受け止めているのか、という議論は十分には行われていない。農山村にとっての追い風ともいえるべき状況を踏まえ、各地域の農業関係者はどのような農業・農村の未来を描いているのか？

本シンポジウムでは、和歌山県の農業・農村のこれまでの振り返るとともに、農業者などから地域（農業）の現状や展望を報告いただく。そして、これらの報告を踏まえて、農村の基盤産業である農業の今後を考えるとともに、「田園回帰」志向を農山村はどのように受け止め、地域づくりに取り組んでいくのかについて総合的な議論を行う。

プログラム：

- |                                    |             |
|------------------------------------|-------------|
| 1. 開会挨拶                            | 13:00～13:10 |
| 2. 第 I 部 基調講演                      |             |
| 「和歌山県における田園回帰の捉え方」                 | 13:10～14:10 |
| 湯崎 真梨子（和歌山大学 産学連携イノベーションセンター 客員教授） |             |
| 3. 第 II 部 現場報告                     |             |
| 報告 1 県下における農業・農村支援策                | 14:20～14:40 |
| 阪井 加寿子（和歌山大学大学院観光学研究科博士後期課程）       |             |
| 報告 2 梅産地の現状と課題                     | 14:40～15:00 |
| 中早 大輔（みなべ町）                        |             |
| 報告 3 梅・柑橘複合産地の現状と課題                | 15:00～15:20 |
| 芝 翼（田辺市）                           |             |
| 報告 4 山間地域の現状と課題                    | 15:20～15:40 |
| 原 洋平（那智勝浦町）                        |             |
| 4. 総合討論                            | 15:50～17:20 |
| コーディネーター 大西 敏夫（和歌山大学 経済学部）         |             |
| コメンテーター 大浦 由美（和歌山大学 観光学部）          |             |
| 5. 閉会挨拶                            | 17:20～17:30 |